

今回、復活する丸型郵便ポストについて

今回復活する赤い丸型郵便ポスト（郵便差出箱 1号丸型）は、本体の高さが 135cm 直径 40cm 庇の横幅 24cm 重さ 150 キロ。

このポストは、かつて東海地方で使用されていましたが、引退後、名古屋森孝郵便局長が名古屋市森孝西小学校に教材用として寄贈しました。

赤い丸型郵便ポストは 1949 年から 1969 年にかけて製造され、1972 年には各地で約 55,000 本が稼働していましたが、現在は約 5,600 本しか稼働していません（2013 年 3 月 31 日現在）。

名古屋市内では、4 本しか使用されていない貴重な丸型郵便ポストです。

丸型郵便ポスト復活に向けた塗装作業について

丸型ポスト塗装作業は、2014 年 1 月、名古屋市守山区森孝に在住の（元名古屋末盛通郵便局長）の高木 庄司さんが、名古屋森孝西小学校から、「丸型ポストが腐食しているので、児童たちに記念にポストを塗り直し活用したい」との申出を、丸型ポスト写真家 庄司 巧氏に相談しました。

同年 2 月、丸型ポスト写真家 庄司 巧氏から、現役ポストとして復帰して森孝西小学校周辺で活用できないものかとの相談を受けた日本郵便株式会社東海支社において、森孝西小学校、地域住民、関係者の方々への了解をいただき、同年 5 月 11 日（日）及び 12 日（月）に、丸型ポスト地域おこし修復保存活動に取り組んでいる千葉県 日本郵便職員 小沼 隆行さんたち、同校生徒とともに、塗装作業を実施しました。

<修繕前>



<修繕後>

